

編集後記

先日読んだ本に書かれていたフレーズである。「人は好きだったことを突然嫌いになることはあるが、得意なことが突然苦手になることはめったにない。」当たり前のことだが深く考え込んでしまった。「好き」だけでは続けていけないのが仕事だと私は思う。仕事の中で効率を求めるのであれば「好き」よりも「得意」に重点をおく方がはるかに良い結果を招くに違いない。「好きこそもの上手なれ」という言葉もあるが、「好き」に「得意」が加わるまでには長い道のりがある。そして「好き」に「得意」が加わった人は、その人がその道のプロフェッショナルになった証だと思う。2009年12月19日に行われた第120回研修会で大阪大学生命科学図書館の諏訪氏からさまざまなレファレンスの事例をお話しいただいた。学生や教員から投げかけられる無理難題に諏訪氏はいとも簡単そうに回答していた。諏訪氏は長年培った技術と、研ぎ澄まされた勘で数多くのレファレンス業務をこなしてきたのだろう。私は講演を聞きながら「この人はプロだな」といたく感激した。多分、諏訪氏はレファレンス業務が「好き」で「得意」なんだと思う。

(若杉 亜矢)

会誌編集部員

部長：増田 徹（藍野大学）
部員：井上 智奈美（三菱京都病院）
寺澤 裕子（関西労災病院）
松尾 知香（石切生喜病院）
若杉 亜矢（松下記念病院）

病院図書館 第29巻 第2号 季刊 2010年3月19日 発行

定価 ¥1,500（年間購読料 ¥6,000）送料込

発行所 近畿病院図書館協議会

〒651-1145 兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1 社会保険神戸中央病院医学資料室 気付

TEL (078) 594-2616 FAX (078) 594-2289

印刷所 明文舎印刷株式会社

〒601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町10

TEL (075) 681-2741 FAX (075) 681-2742
